



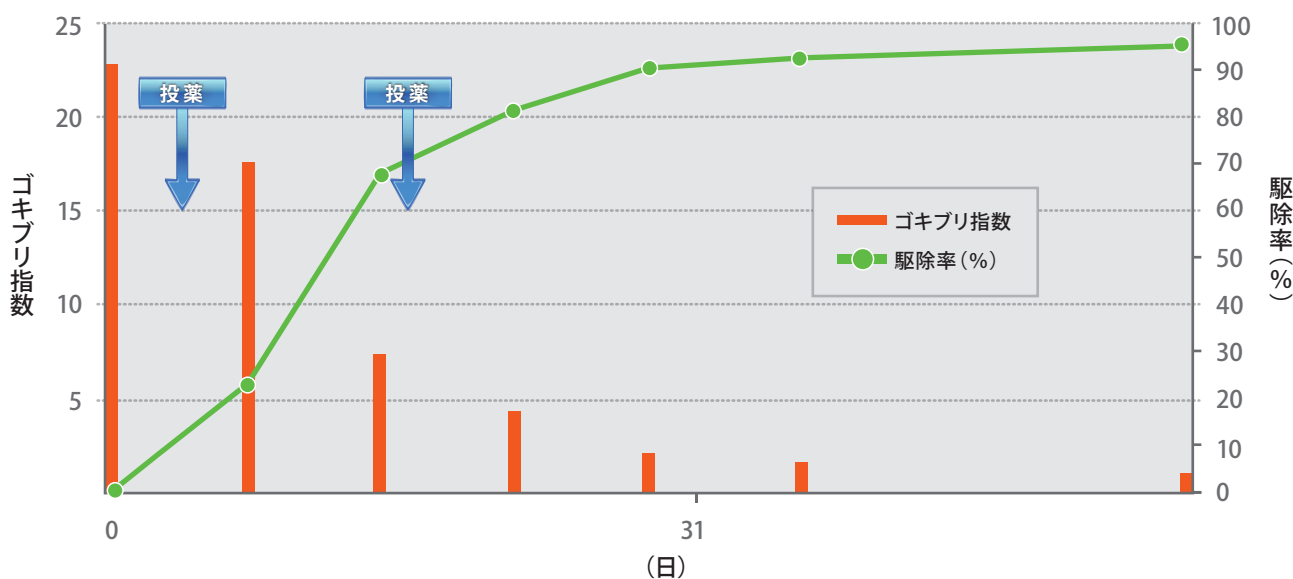
マックスフォース (小型)G を使用したチャバネゴキブリ実地効力試験 ①

物件概要 K市 寿司店、138.6㎡ (平面図：裏面)

試験概要 試験開始前7日間のゴキブリ指数を調査し、試験開始日にマックスフォース (小型)Gを合計56個設置した (平均2個/5㎡)。また、1週間後に食べつくされた24箇所に関しては2週間後に新しいものと交換をした。その後、観察を行い各ゴキブリ指数、駆除率の算出をした。

試験結果

試験開始前には、20を超える非常に高いゴキブリ指数であったが、その後の2回の投薬をへて、ゴキブリ指数は飛躍的に低下し、約1ヶ月強にわたって、低い指数を保つことができた。



$$\text{ゴキブリ指数} = \frac{\text{全捕獲数}}{\text{全トラップ数} \times \text{設置日数}}$$

$$\text{駆除率} = \left(1 - \frac{\text{駆除後のゴキブリ指数}}{\text{初回時のゴキブリ指数}}\right) \times 100$$

考察

マックスフォース (小型)Gゴキブリ防除用ベイト剤として実用的な効果を有していることがわかった。

試験機関 (財) 日本環境衛生センター

試験物件：平面図

